

平成22年12月16日

## 八幡市駅が、お客さまと環境にもっとやさしい駅に生まれ変わります！

12月23日(木・祝)に、エレベーター、多目的トイレの供用開始  
駅舎のデザインはエジソンゆかりの八幡のイメージをシンボリックに表現  
来年1月下旬には、LED照明の導入により省電力化を実現

京阪電気鉄道株式会社(本社:大阪市中央区、社長:上田成之助)では、現在、「お客さまにやさしい駅」の実現の一環として、八幡市駅のバリアフリー化工事を進めていますが、そのうち、エレベーター、多目的トイレを備えた改札内トイレなどの供用を12月23日(木・祝)から開始します。

エレベーターは、上り(出町柳方面行き)、下り(大阪方面行き)ホームにそれぞれ1基ずつ新たに設置し、これにより、駅をご利用のお年寄りや体の不自由な方々にも、ホームにスムーズにアクセスしていただけるようになります。

トイレは、現在の上りホーム大阪方端から下りホームに移設するとともに、オストメイト用設備を備えた多目的トイレ、お子さま連れのお客さま向けの幼児用設備(ベビーキープ・ベビーシート)などを新たに整備し、様々な方々に、より快適に駅をご利用いただけるようになりました。

また、バリアフリー化工事に合わせて、駅舎などの改修も行いました。改修に際しては、白熱電球の発明者であるエジソンが、発光体であるフィラメントに八幡の竹を用いたというエピソードをモチーフにしたデザインを採用。駅舎上屋をテント化してライトアップすることにより白熱電球のイメージを表現しました。

来年1月下旬には、従来の蛍光灯に比べて消費電力が少なく長寿命であるLED(発光ダイオード)照明を、駅舎、コンコース、トイレ、待合室に合計150台導入する予定です。蛍光灯による設計と比較して、照明全体で約40%省電力化が可能となる見込みで、環境に配慮した駅を実現するとともに、コンコース・トイレ壁面のタイル面に緑色の照明を当てることにより竹の雰囲気演出します。

詳細は別紙のとおりです。

(別紙)

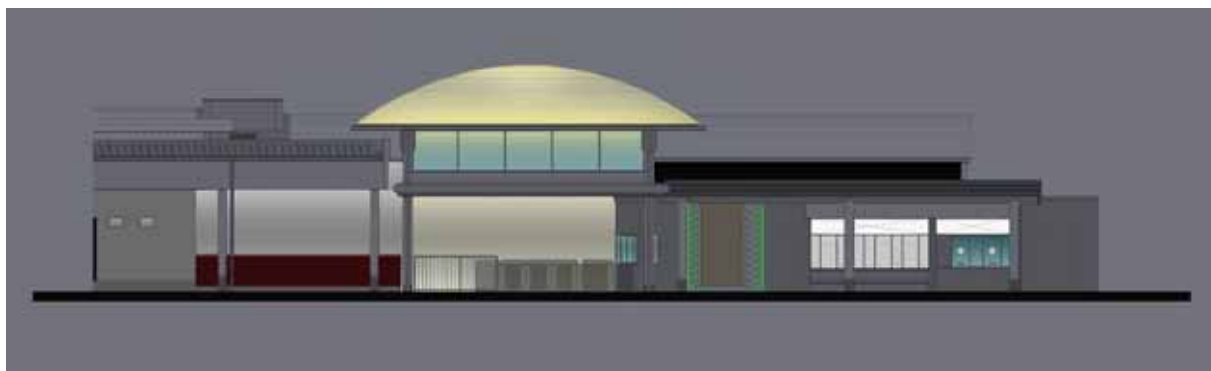
《12月23日に供用開始となる部分の工事概要》

#### バリアフリー化工事

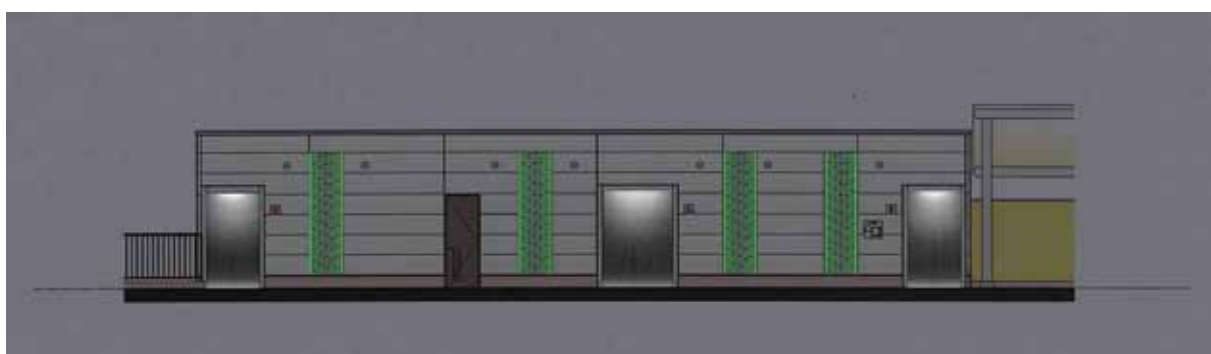
- ・ 上り(出町柳方面行き)ホームエレベーター ホーム階～地下連絡通路
- ・ 下り(大阪方面行き)ホームエレベーター ホーム階～改札階～地下連絡通路
- ・ 改札内トイレ(現在の上りホーム大阪方端から下りホームに移設拡充)  
主な設備:多目的トイレ(車いす対応、ベビーシート、オストメイト用流しを設置)  
男性用・女性用トイレにベビーキープを設置  
男性用トイレに超節水型小便器を導入
- ・ 幅広型(車いす対応)自動改札機

#### 駅舎などの改修工事

- ・ 駅舎上屋改修整備(テント化)  
テントの上屋をライトアップすることにより、エジソンが発明した白熱電球をイメージ
- ・ コンコースおよびトイレ壁面の一部をタイル施工し、タイル面に緑色のLED照明を当てることにより、八幡の竹をイメージ  
エジソンは白熱電球の発光体であるフィラメントに八幡の竹を採用  
LED照明器具の設置は平成23年1月下旬の予定



八幡市駅外観イメージ(夜間)



下りホームのトイレ壁面イメージ(夜間)

《平成23年1月以降実施する工事》

- ・待合室の移設整備工事 平成23年3月下旬竣工予定
- ・LED照明器具の設置 平成23年1月下旬設置予定

駅舎、コンコース、トイレ、待合室に150台を導入

八幡のイメージ演出、省電力化についてはパナソニックグループと共同で検討

照明器具はパナソニック電工(株)製品を採用

従来の蛍光灯に比べ照明全体で約40%と消費電力が少なく長寿命

一部に新製品(直管形LEDランプ搭載ベースライト等)を導入するため、LED照明器具の設置は平成23年1月下旬の予定

以上